


森林整備加速化・林業再生基金事業の概要比較表

環境・農水常任委員会資料  
平成24年(2012年)3月13日  
琵琶湖環境部森林政策課

対策名称	緑の産業再生プロジェクト 	復興木材安定供給等対策および 森林・林業人材育成加速化事業
実施期間	平成21年度～平成23年度(3カ年)	平成24年度～平成26年度(3カ年)
目的	都道府県に基金を造成し、地方公共団体、森林組合等の林業事業者・林業経営体、木材加工業者、木質バイオマス需要者等の幅広い関係者からなる地域協議会による地域の創意工夫を活かした川上から川下にいたる総合的な取り組みに対する支援	復興に必要な木材を安定供給するために必要な搬出間伐の実施、路網や木材加工施設の整備等、既存の協議会による地域の課題解決に向けた川上、川中を中心とした取り組みに対する支援および森林・林業の再生に必要な人材の育成
基金総額(全国)	1,238億4,400万円	第3次補正分…1,399億4,600万円 第4次補正分… 44億3,200万円
基金積立額(滋賀県)	21億4,500万円	第3次補正分… 13億3,000万円(内示額) 第4次補正分… 4,026万円(内示額)
事業内容 ○:継続メニュー ●:継続されないメニュー	(実施数量はH24.2月末現在の見込) 1. 川上対策 ○間伐(切り捨て):1,731ha ○林内路網整備:97,257m ●里山再生対策(シカ剥被害防除等):1,018ha ○森林境界の明確化:— ○高性能林業機械等の導入:—	1. 川上対策 ○間伐等(搬出):1,270ha ○林内路網整備(林業専用道または森林作業道に限定):129,000m 25,000円/m 2,000円/m ○森林境界の明確化:400ha ○高性能林業機械の導入:41台 (グラブ、フォワーダ、ハーベスタ、プロセッサ等) ●(新)森林・林業人材育成加速化事業:施業プランナー、オペレーター等の人材育成
	2. 川中対策 ○木材加工流通施設等整備:14施設 ●間伐材安定供給コスト支援:1,400m3 ○流通経費支援(間伐材運搬):8,864m3	2. 川中対策 ○木材加工流通施設等整備:21施設 (木材乾燥機、構造材加工機、帯鋸盤等) ○流通経費支援(間伐材等運搬):5,000m3
	3. 川下対策 ●木造公共施設等整備:6施設(社会福祉法人等施設) ○木質バイオマス利用施設等整備:— ●地域材利用開発:1プロジェクト	3. 川下対策 ○木質バイオマス利用施設等整備:1施設